

対象校No.

注4

631

学校コード F125110107293

注3

事前相談 (JD)

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

注2

滋賀医科大学大学院 医学系研究科

滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻（博士課程）

【認可（JD）】設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正後大学設置基準適用）

国立大学法人滋賀医科大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務企画課
職名・氏名	カチョウ サイトウ マサノブ 課長 齊藤 正信
電話番号	077-548-2010
（夜間）	077-548-2010
e-mail	hqbunsho@belle.shiga-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

医学系研究科

	ページ
<滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻（博士課程）>	
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教育研究実施組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人滋賀医科大学

【連携外国大学の設置者】マレーシア政府

(2) 大学名

滋賀医科大学

【連携外国大学の名称】

The National University of Malaysia (Universiti Kebangsaan Malaysia : UKM)

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

【連携外国大学の本部の位置】

43600 UKM Bangi, Selangor Darul Ehsan, Malaysia

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ウエモト シンジ) 上本 伸二 (令和2年4月)		
研究科長	(ウエモト シンジ) 上本 伸二 (令和4年11月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学系研究科 滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻 博士（医学）	医学関係	4年	<30> 2人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	<120> 8人	-	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・< >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	10月入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	春季入学以外の学期区分を設ける予定			
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	入学時期：10月 入学定員：2人			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「-」を記入してください。
 - ・「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例)「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	10月入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、「春季入学」と「その他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）」に分けて数値を記入してください。「春季入学」のみの実施の場合は、「その他の学期」欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科等の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例)「春季入学」→「6月入学」、「10月入学」等 「その他の学期」→「10月入学」等
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学系研究科 滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					専任教員以外の教員(助手を除く)	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎基幹科目	医学総合特論		1通~2通	滋賀医科大学	3			7	8					
	研究手法概論		1通~2通	マレーシア国民大学	4			8	14	11	1			
	医学・生命倫理学概論		1通~2通	滋賀医科大学	1			2						
	日本語と日本文化研究		1通~2通	滋賀医科大学		3		2	1					
	マレー語とマレーシア文化研究		1通~2通	マレーシア国民大学		3				1				
	日本における老化学研究		1通~2通	滋賀医科大学	6			3	2					
	マレーシアにおける老化学研究		1通~2通	マレーシア国民大学	6			3	1					
小計(7科目)		-			20	6		20	23	12	1			
先端老化研究科目	老化の病態科学と社会医学	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		10	23					
	加齢神経科学	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		11	10					
	加齢とがん	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		12	13					
	加齢と生活習慣病	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		9	12					
小計(4科目)		-				28		42	58					
合計(11科目)					20	34		48	70	12	1			
卒業要件及び履修方法														
【修了要件】 1) 4年以上在学すること 2) 30単位以上(「基礎基幹科目」の各大学開設の必修科目10単位ずつと選択科目3単位、共同開設科目「先端老化研究科目」7単位)を取得すること 3) 必要な研究指導を受けること 4) 2年次に実施のQE(研究基礎力試験)に合格すること 5) 4年次までに、原則ジャーナルサイテーションレポート(JCR)に収録され、投稿時のインパクト・ファクター(IF)が1.0以上である学術誌に公表済又は公表予定のエイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著論文を提出し、審査を受け、最終試験に合格すること 6) 4年次までに、エイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著又はレビュー論文をWOS(Web of Science)登録の学術誌に公表済又は公表予定であること 7) エイジングサイエンスに関する研究成果を少なくとも1つの学会で発表すること 【履修方法】 基礎基幹科目の必修科目から20単位、選択科目から3単位、先端老化研究科目の選択科目から7単位を修得し、合計30単位を履修すること。														

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					専任教員以外の教員(助手を除く)	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎基幹科目	医学総合特論(未開講)		1通~2通	滋賀医科大学	3			7	8					
	研究手法概論(未開講)		1通~2通	マレーシア国民大学	4			8	14	11	1			
	医学・生命倫理学概論(未開講)		1通~2通	滋賀医科大学	1			2						
	日本語と日本文化研究(未開講)		1通~2通	滋賀医科大学		3		2	1					
	マレー語とマレーシア文化研究(未開講)		1通~2通	マレーシア国民大学		3					1			
	日本における老化学研究(未開講)		1通~2通	滋賀医科大学	6			3	2					
	マレーシアにおける老化学研究(未開講)		1通~2通	マレーシア国民大学	6			3	3	5				
小計(7科目)		-			20	6		20	24	17	1			
先端老化研究科目	老化の病態科学と社会医学(未開講)	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		10	24	5				
	加齢神経科学(未開講)	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		11	10					
	加齢とがん(未開講)	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		12	11					
	加齢と生活習慣病(未開講)	○	3通~4通	滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7		8	12					
小計(4科目)		-				28		41	57	5				
合計(11科目)					20	34		47	69	17	1			
卒業要件及び履修方法														
【修了要件】 1) 4年以上在学すること 2) 30単位以上(「基礎基幹科目」の各大学開設の必修科目10単位ずつと選択科目3単位、共同開設科目「先端老化研究科目」7単位)を取得すること 3) 必要な研究指導を受けること 4) 2年次に実施のQE(研究基礎力試験)に合格すること 5) 4年次までに、原則ジャーナルサイテーションレポート(JCR)に収録され、投稿時のインパクト・ファクター(IF)が1.0以上である学術誌に公表済又は公表予定のエイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著論文を提出し、審査を受け、最終試験に合格すること 6) 4年次までに、エイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著又はレビュー論文をWOS(Web of Science)登録の学術誌に公表済又は公表予定であること 7) エイジングサイエンスに関する研究成果を少なくとも1つの学会で発表すること 【履修方法】 基礎基幹科目の必修科目から20単位、選択科目から3単位、先端老化研究科目の選択科目から7単位を修得し、合計30単位を履修すること。														

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の3)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の3)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。**その上で、各年度については、「**基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・ 「マレーシアにおける老化学研究」の専任教員等の配置: マレーシア国民大学の准教授が1から3に、講師が0から5に変更。
- ・ 「老化の病態科学と社会医学」の専任教員等の配置: マレーシア国民大学の准教授が11から12に、講師が0から5に変更。
- ・ 「加齢とがん」の専任教員等の配置: 滋賀医科大学の准教授が11から9に変更。
- ・ 「加齢と生活習慣病」の専任教員等の配置: マレーシア国民大学の教授が4から3に変更。

- (注)・ 2(1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
滋賀医科大学	3 科目	1 科目	0 科目	4 科目	3 科目 [0]	1 科目 [0]	0 科目 [0]	4 科目 [0]	
マレーシア国民大学	2 科目	1 科目	0 科目	3 科目	2 科目 [0]	1 科目 [0]	0 科目 [0]	3 科目 [0]	
共同開設科目	0 科目	4 科目	0 科目	4 科目	0 科目 [0]	4 科目 [0]	0 科目 [0]	4 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1							該当なし
2							
3							

(注)・配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1							該当なし
2							
3							

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	229,526㎡	0㎡	0㎡	229,526㎡				
	そ の 他	3,492㎡	0㎡	0㎡	3,492㎡				
	合 計	233,018㎡	0㎡	0㎡	233,018㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	33,916㎡ (33,916㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	33,916㎡ (33,916㎡)					
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室					
	12室	14室	2室	68室					
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	学部等単位での特定不能なため、大学全体の数を記入	
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				
	医学系研究科 滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻	237,960 [123,322] (237,960 [123,322])	65,454 [56,613] (65,454 [56,613])	9,857 [7,588] (9,857 [7,588])	7,531 [6,294] (7,531 [6,294])	13 (13)	719 (719)		
	計	237,960 [123,322] (237,960 [123,322])	65,454 [56,613] (65,454 [56,613])	9,857 [7,588] (9,857 [7,588])	7,531 [6,294] (7,531 [6,294])	13 (13)	719 (719)		
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 名称	滋賀医科大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
医学部														
医学科	6	95	2年次15	620	学士(医学)	1.02	1.00	令和7	昭和49	滋賀県大津市瀬田月輪町				
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	1.02	0.99	-	平成6	同上				
大学全体	-	155	2年次15	860	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

(1) -① 担当教員表

<滋賀医科大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石垣 診祐 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢神経科学
専	教授	芦原 貴司 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢と生活習慣病
専	教授	扇田 久和 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 日本における老化学研究 加齢と生活習慣病
専	教授	伊藤 靖 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	教授	依馬 正次 <令和7年10月> 博士(理学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	教授	加藤 穰 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 日本語と日本文化研究 日本における老化学研究 老化の病態科学と社会医学
専	教授	古荘 義雄 <令和7年10月> 博士(工学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	教授	大北 全俊 <令和7年10月> 博士(文学) 医学・生命倫理学概論 日本語と日本文化研究 老化の病態科学と社会医学
専	教授	笠間 周 <令和7年10月> 博士(医学) 医学・生命倫理学概論 加齢と生活習慣病

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石垣 診祐 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢神経科学
専	教授	芦原 貴司 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢と生活習慣病
専	教授	扇田 久和 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 日本における老化学研究 加齢と生活習慣病
専	教授	伊藤 靖 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	教授	依馬 正次 <令和7年10月> 博士(理学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	教授	加藤 穰 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 日本語と日本文化研究 日本における老化学研究 老化の病態科学と社会医学
専	教授	古荘 義雄 <令和7年10月> 博士(工学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	教授	大北 全俊 <令和7年10月> 博士(文学) 医学・生命倫理学概論 日本語と日本文化研究 老化の病態科学と社会医学
専	教授	笠間 周 <令和7年10月> 博士(医学) 医学・生命倫理学概論 加齢と生活習慣病

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	縣 保年 <令和7年10月> 博士(医学) 日本における老化学研究 加齢とがん
		森田 真也 <令和7年10月> 博士(薬学) 老化の病態科学と社会医学
専	教授	一杉 正仁 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
		伊藤 俊之 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
専	教授	塩見 直人 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
		漆谷 真 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	教授	尾関 祐二 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
		吉田 和道 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	教授	北川 裕利 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
		渡邊 嘉之 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	教授	宇田川 潤 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
		勝山 裕 <令和7年10月> 博士(理学) 加齢神経科学
専	教授	小川 正晃 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	縣 保年 <令和7年10月> 博士(医学) 日本における老化学研究 加齢とがん
		森田 真也 <令和7年10月> 博士(薬学) 老化の病態科学と社会医学
専	教授	一杉 正仁 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
		伊藤 俊之 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
専	教授	塩見 直人 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
		漆谷 真 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	教授	尾関 祐二 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
		吉田 和道 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	教授	北川 裕利 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
		渡邊 嘉之 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	教授	宇田川 潤 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
		勝山 裕 <令和7年10月> 博士(理学) 加齢神経科学
専	教授	小川 正晃 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	醍醐 弥太郎 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	向所 賢一 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	村田 誠 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	丸尾 良浩 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	藤本 徳毅 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	高岡 一樹 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	影山 進 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	川崎 拓 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	清水 智治 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	久米 真司 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢と生活習慣病
専	教授	鈴木 友彰 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢と生活習慣病
専	准教授	早川 晃一 <令和7年10月> 博士(医学)
		医学総合特論 日本語と日本文化研究
専	准教授	柳沢 大治郎 <令和7年10月> 博士(薬学)
		医学総合特論 加齢神経科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	醍醐 弥太郎 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	向所 賢一 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	村田 誠 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	丸尾 良浩 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	藤本 徳毅 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	高岡 一樹 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	影山 進 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	川崎 拓 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	清水 智治 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢とがん
専	教授	久米 真司 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢と生活習慣病
専	教授	鈴木 友彰 <令和7年10月> 博士(医学)
		加齢と生活習慣病
専	准教授	早川 晃一 <令和7年10月> 博士(医学)
		医学総合特論 日本語と日本文化研究
専	准教授	柳沢 大治郎 <令和7年10月> 博士(薬学)
		医学総合特論 加齢神経科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	守村 敏史 <令和7年10月> 博士(獣医学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	朝比奈 欣治 <令和7年10月> 博士(理学) 医学総合特論 日本における老化学研究 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	里岡 大樹 <令和7年10月> 博士(分子毒性学)米国 医学総合特論 日本における老化学研究 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	大野 美紀子 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢と生活習慣病
専	准教授	門田 文 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢と生活習慣病
専	准教授	成瀬 延康 <令和7年10月> 博士(工学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	築山 智之 <令和7年10月> 博士(農学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	本山 一隆 <令和7年10月> 博士(理学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	川北 素子 <令和7年10月> 博士(数理学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	小島 隆次 <令和7年10月> 博士(教育学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	石垣 宏仁 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	守村 敏史 <令和7年10月> 博士(獣医学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	朝比奈 欣治 <令和7年10月> 博士(理学) 医学総合特論 日本における老化学研究 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	里岡 大樹 <令和7年10月> 博士(分子毒性学)米国 医学総合特論 日本における老化学研究 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	大野 美紀子 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢と生活習慣病
専	准教授	門田 文 <令和7年10月> 博士(医学) 医学総合特論 加齢と生活習慣病
専	准教授	成瀬 延康 <令和7年10月> 博士(工学) 医学総合特論 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	築山 智之 <令和7年10月> 博士(農学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	本山 一隆 <令和7年10月> 博士(理学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	川北 素子 <令和7年10月> 博士(数理学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	小島 隆次 <令和7年10月> 博士(教育学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	石垣 宏仁 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 義人 <令和7年10月> 博士(薬学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	中村 磨美 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	北原 照代 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	橋本 翔子 <令和7年10月> 博士(理学) 加齢神経科学
専	准教授	寺島 智也 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	藤井 久彌子 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	大脇 成広 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	深見 忠輝 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	金田 勇人 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	旦部 幸博 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	山口 将史 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	稲富 理 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	森 幹士 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 義人 <令和7年10月> 博士(薬学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	中村 磨美 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	北原 照代 <令和7年10月> 博士(医学) 老化の病態科学と社会医学
専	准教授	橋本 翔子 <令和7年10月> 博士(理学) 加齢神経科学
専	准教授	寺島 智也 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	藤井 久彌子 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	大脇 成広 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	深見 忠輝 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	金田 勇人 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢神経科学
専	准教授	旦部 幸博 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	山口 将史 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	稲富 理 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	辻 俊一郎 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	児玉 成人 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	花岡 淳 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	園田 明永 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	森谷 鈴子 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	山田 篤史 <令和7年10月> 博士(工学) 加齢とがん
専	准教授	仲山 貴永 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	佐藤 朗 <令和7年10月> 博士(学術) 加齢と生活習慣病
専	准教授	原田 亜紀子 <令和7年10月> 博士(保健学) 加齢と生活習慣病
専	准教授	辻田 靖之 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢と生活習慣病
専	准教授	小川 恵美子 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢と生活習慣病
その他(調)	助教	RABIATUL ADAWIYAH BINTI RAZALI <令和7年10月> Ph. D.

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	辻 俊一郎 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	花岡 淳 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	園田 明永 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	森谷 鈴子 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	山田 篤史 <令和7年10月> 博士(工学) 加齢とがん
専	准教授	仲山 貴永 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢とがん
専	准教授	佐藤 朗 <令和7年10月> 博士(学術) 加齢と生活習慣病
専	准教授	原田 亜紀子 <令和7年10月> 博士(保健学) 加齢と生活習慣病
専	准教授	辻田 靖之 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢と生活習慣病
専	准教授	小川 恵美子 <令和7年10月> 博士(医学) 加齢と生活習慣病
その他(調)	助教	RABIATUL ADAWIYAH BINTI RAZALI <令和7年10月> Ph. D.

<マレーシア国民大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国	教授相当	Suzana Makpol <令和7年10月> 研究手法概論 マレーシアにおける 老化学研究 老化の病態科学と社会医学
外国	教授相当	Tan Hui Jan <令和7年10月> 加齢神経科学
外国	教授相当	Norlinah Mohd Ibrahim <令和7年10月> 加齢神経科学
外国	教授相当	Norfilza Mohd Mokhtar <令和7年10月> マレーシアにおける 老化学研究 加齢とがん
外国	教授相当	Nasir Mohd Shafiee <令和7年10月> 加齢とがん
外国	教授相当	Norlaila Mustafa <令和7年10月> マレーシアにおける 老化学研究 加齢と生活習慣病
外国	教授相当	Norlela Sukor <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	教授相当	Tan Geok Chin <令和7年10月> 加齢と生活習慣病 研究手法概論
外国	教授相当	Zaleha Mahdi <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	教授相当	Zaleha Md Isa <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Shamsul Azhar Shah <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Mohd Shahrir Mohamed Said <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Sharifa Ezat Wan Puteh <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Cheah Fook Choe <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Mohd Rizal Abdul Manaf <令和7年10月> 研究手法概論

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国	教授相当	Suzana Makpol <令和7年10月> 研究手法概論 マレーシアにおける 老化学研究 老化の病態科学と社会医学
外国	教授相当	Tan Hui Jan <令和7年10月> 加齢神経科学
外国	教授相当	Norlinah Mohd Ibrahim <令和7年10月> 加齢神経科学
外国	教授相当	Norfilza Mohd Mokhtar <令和7年10月> マレーシアにおける 老化学研究 加齢とがん
外国	教授相当	Nasir Mohd Shafiee <令和7年10月> 加齢とがん
外国	教授相当	Norlaila Mustafa <令和7年10月> マレーシアにおける 老化学研究 加齢と生活習慣病
外国	教授相当	Norlela Sukor <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	教授相当	Tan Geok Chin <令和7年10月> 加齢と生活習慣病 研究手法概論
外国	教授相当	Zaleha Md Isa <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Shamsul Azhar Shah <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Mohd Shahrir Mohamed Said <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Sharifa Ezat Wan Puteh <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Cheah Fook Choe <令和7年10月> 研究手法概論
外国	教授相当	Mohd Rizal Abdul Manaf <令和7年10月> 研究手法概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国(調)	准教授相当	Goon Jo Aan <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Saharuddin Ahmad <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Azman Abdullah <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Hashim Embong <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Aznida Firzah Abdul Aziz <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Chin Kok Yong <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学 研究手法概論
外国	准教授相当	Ahmad Khaldun Ismail <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Tan Jen Kit <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学 研究手法概論
外国	准教授相当	Norliza Muhammad <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Badrul Akmal Hisham Md Yusoff <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Tan Toh Leong <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Jayakumar A/L Murthy <令和7年10月>
		加齢神経科学 研究手法概論
外国	准教授相当	Rabani Remli <令和7年10月>
		マレーシアにおける老化学研究 加齢神経科学
外国	准教授相当	Teoh Seong Lin <令和7年10月>
		加齢神経科学
外国	准教授相当	Rizuana Iqbal Hussain <令和7年10月>
		加齢とがん

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国(調)	准教授相当	Goon Jo Aan <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究
外国	准教授相当	Saharuddin Ahmad <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Azman Abdullah <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Hashim Embong <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Aznida Firzah Abdul Aziz <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Chin Kok Yong <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学 研究手法概論
外国	准教授相当	Ahmad Khaldun Ismail <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Tan Jen Kit <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学 研究手法概論
外国	准教授相当	Norliza Muhammad <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Badrul Akmal Hisham Md Yusoff <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Tan Toh Leong <令和7年10月>
		老化の病態科学と社会医学
外国	准教授相当	Jayakumar A/L Murthy <令和7年10月>
		加齢神経科学 研究手法概論
外国	准教授相当	Rabani Remli <令和7年10月>
		マレーシアにおける老化学研究 加齢神経科学
外国	准教授相当	Teoh Seong Lin <令和7年10月>
		加齢神経科学
外国	准教授相当	Rizuana Iqbal Hussain <令和7年10月>
		加齢とがん

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Chew Kah Teik <令和7年10月> 加齢とがん
外国	准教授相当	Amilia Aminuddin <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Azizah Ugusman <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Mohd Helmy Mokhtar <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Siti Fatimah Ibrahim <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Mohd Fairuz Ali <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Norasyikin A Wahab <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Ani Amelia Zainuddin <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Ixora Kamisan @ Atan <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Law Zhe Kang <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Syahrul Sazliana Shahrir <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Tan Chai Eng <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Nani Harlina Md Latar <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Kamisah Yusof <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Mohd Rohaizat Hassan <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Nazarudin Safian <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Mohd Fauzi Mh Busra <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Rosnah Sutan <令和7年10月> 研究手法概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Chew Kah Teik <令和7年10月> 加齢とがん
外国	准教授相当	Amilia Aminuddin <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Azizah Ugusman <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Mohd Helmy Mokhtar <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Siti Fatimah Ibrahim <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Mohd Fairuz Ali <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Norasyikin A Wahab <令和7年10月> 加齢と生活習慣病
外国	准教授相当	Ani Amelia Zainuddin <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Ixora Kamisan @ Atan <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Law Zhe Kang <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Syahrul Sazliana Shahrir <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Tan Chai Eng <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Nani Harlina Md Latar <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Kamisah Yusof <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Mohd Rohaizat Hassan <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Nazarudin Safian <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Mohd Fauzi Mh Busra <令和7年10月> 研究手法概論
外国	准教授相当	Rosnah Sutan <令和7年10月> 研究手法概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	講師相当	Isma Liza Mohd Isa <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Nadiyah Sulaiman <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Manira Maarof <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Faiz Daud <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Zulkarnain Md Idris <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Mohamad Nurman Yaman <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Anisah Nordin <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Shalisah Sharip <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Law Jia Xian <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Fazlina Nordin <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Nur Atiqah Haizum <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Noorhazila Mohd Hamid <令和7年10月> マレー語とマレーシア文化研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国	准教授相当	Noor Akmal Shareela Ismail <令和7年10月> 老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究
外国	講師相当	Isma Liza Mohd Isa <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Nadiyah Sulaiman <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Manira Maarof <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Faiz Daud <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Zulkarnain Md Idris <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Mohamad Nurman Yaman <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Anisah Nordin <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Shalisah Sharip <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Law Jia Xian <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Fazlina Nordin <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Nur Atiqah Haizum <令和7年10月> 研究手法概論
外国	講師相当	Noorhazila Mohd Hamid <令和7年10月> マレー語とマレーシア文化研究
外国	講師相当	Khaizurin Tajul Ariffin <令和7年10月> 老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究
外国	講師相当	Norwahidah Abdul Karim <令和7年10月> 老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究
外国	講師相当	Faizul Jaafar <令和7年10月> 老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			外国	講師相当	Muhammad Luqman Nasaruddin <令和7年10月> 老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究
			外国	講師相当	Ekram Alias <令和7年10月> 老化の病態科学と社会医学 マレーシアにおける老化学研究
外国	助教相当	Azlan Mohamad Hamzah <令和7年10月>	外国	助教相当	Azlan Mohamad Hamzah <令和7年10月>
		研究手法概論			研究手法概論

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)又は(その2の2)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、**高等専門学校**は除く)
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<滋賀医科大学>

【令和7年度】

- ・ 森幹士准教授辞任。
- ・ 児玉成人准教授辞任。

<マレーシア国民大学>

【令和7年度】

- Zaleha Mahdi教授辞任。
- Noor Akmal Shareela Ismail准教授就任。
- Khaizurin Tajul Ariffin講師就任。
- Norwahidah Abdul Karim講師就任。
- Faizul Jaafar講師就任。
- Muhammad Luqman Nasaruddin講師就任。
- Ekram Alias講師就任。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、

A C教員審査を受審する必要があります。）

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
30 名	- 名	30（研究指導教員数と研究指導補助教員数を合わせて60以上とする） 名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
33	37	0	0	70	0	33	35	0	0	68	0
(33)	(35)	(0)	(0)	(68)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
69	33	0	1			67	33	0	1		
(67)	(33)	(0)	(1)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
33	35	0	0	68	0	33	35	0	0	68	0
[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
67	33	0	1			67	33	0	1		
[Δ2]	[0]	[0]	[0]			[Δ2]	[0]	[0]	[0]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{68}{70} = \boxed{97.14} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する基幹（専任）教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の基幹（専任）教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	森 幹士	R7.3	選択	加齢とがん	①	R7.3.31退職のため就任辞退（7）			
2	准教授	児玉 成人	R7.3	選択	加齢とがん	①	R7.3.31退職のため就任辞退（7）			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{2}{70} = 2.85\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

- 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

R7.3.31付退職の准教授2名は、研究指導科目「加齢とがん」のみの担当だが、開設前であり、学生への不利益は無い。

(注)・ 上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学系研究科 滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている連携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

令和6年10月に締結した「滋賀医科大学とマレーシア国民大学との国際連携教育課程に関する協定書」に基づき、管理運営を総括する組織として国際連携専攻会議を、具体的協議及び決定を行う組織としてJDプログラム運営委員会を設置する。これらの運営に関して、必要な事項を定めた滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻の運営に関する規程を令和7年3月に制定した。国際連携専攻会議及びJDプログラム運営委員会の委員について、本学の委員は4月に決定しており、マレーシア国民大学の委員は7月までに正式に決定される予定である。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

予定

令和7年8月、令和8年8月他随時 JDプログラム運営委員会

令和7年9月、令和8年9月 国際連携専攻会議

c 委員会の審議事項等

JDプログラム運営委員会において検討予定

② 実施状況

a 実施内容

開催予定FD研修

- ・ 本学教職員に対するFD・SD研修会（授業方法について）
- ・ 医学・看護学教育センターFD・SD研修会（教学マネジメント改革の現状）
- ・ ベストティーチャー賞受賞教員の講義の公開（授業参観）
- ・ 研究倫理教育研修会（論文出版と粗悪ジャーナル問題、学術情報の出版倫理と報告ガイドライン等）
- ・ 医学・看護学教育センターFD研修会（入試面接の実施状況と改善への取り組み）

b 実施方法

対面（一部ZOOM等を用いたオンライン配信）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

未実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
JDプログラム運営委員会で検討
- b 教員や学生への公開状況, 方法等
JDプログラム運営委員会で検討

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

マレーシア国民大学との協定により、両大学は共同で、最初の修了者が出る本プログラム開始 (R7.10月) の4年後に自己点検・評価又は外部評価を実施することとしている。
JDプログラム運営委員会は、プログラムの質保証を目的として、本JDプログラムの見直しを随時行う。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
令和11年頃公表
- b 公表方法
マレーシア国民大学との協定により、自己点検・評価等の結果は、ホームページ等に掲載し一般公開。

③ 認証評価を受ける計画

令和4年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による評価を受け、次回は令和11年度までに評価を受けることについて検討中である。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。